

平成20年度第1回広島市スポーツ振興審議会 会議録

I 開催日時

平成20年11月20日（木） 午前10時～午前11時15分

II 開催場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

III 出席者

1 委員（五十音順）20名全員出席

市川委員、越崎委員、小野委員、亀田委員、阪田委員、崎田委員、穴戸委員、曾根委員、田川委員、中本委員、鍋島委員、西野委員、萩原委員、播野委員、東川委員、本川委員、満田委員、本谷委員、山本委員、渡辺委員

2 オブザーバー（五十音順）3名中2名出席

新出オブザーバー、中野オブザーバー

（欠席：冨中オブザーバー）

3 事務局（市）

市民局次長、市民局文化スポーツ部長、スポーツ振興課長、
教育委員会学校教育部指導第一課スポーツ教育担当課長
（市民局次長は諮問後退席）

IV 会議次第

1 開会

2 市民局長あいさつ

3 委員及びオブザーバー紹介

4 会長及び副会長選出

5 広島市スポーツ振興計画（仮称）の策定について（諮問）

6 議事

（1）広島市スポーツ振興審議会について

（2）広島市スポーツ振興審議会オブザーバーとしての協力要請について

（3）本市のスポーツに関する事務の所管等（経緯）について

（4）広島市スポーツ振興計画（仮称）の策定について

7 閉会

V 公開・非公開の別

公開

VI 傍聴者

なし

VII 会議資料

平成20年度第1回広島市スポーツ振興審議会 次第

平成20年度第1回広島市スポーツ振興審議会 配付資料目次

議事の(1)関係

広島市スポーツ振興審議会について

スポーツ振興法（抜粋）

広島市スポーツ振興審議会条例

広島市スポーツ振興審議会の公開に関する取扱要領

議事の(2)関係

広島市スポーツ振興審議会オブザーバーとしての協力要請について

広島市スポーツ振興審議会運営要領

議事の(3)関係

本市のスポーツに関する事務の所管等（経緯）について

広島市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

議事の(4)関係

広島市スポーツ振興計画（仮称）の策定について

スポーツ振興基本計画（文部科学省）

広島市スポーツ振興計画検討委員会で検討された広島市スポーツ振興計画（素案）

〔参考：平成17年3月作成〕

広島市スポーツ振興審議会委員等名簿

諮問書（写し）

VIII 会議の要旨

1 開会

2 市民局次長あいさつ

3 委員及びオブザーバー紹介

（委員及びオブザーバーによる自己紹介）

4 会長及び副会長選出

（委員の互選により、会長に東川委員を、副会長に小野委員を選出）

5 広島市スポーツ振興計画（仮称）の策定について（諮問）

（市民局次長から会長に諮問書を手交）

6 議事（「IX 発言の要旨」参照）

（1）広島市スポーツ振興審議会について

（説明内容について、意見等なし）

（2）広島市スポーツ振興審議会オブザーバーとしての協力要請について

（説明内容について、意見等なし）

（3）本市のスポーツに関する事務の所管等（経緯）について

（説明内容について、意見等なし）

（4）広島市スポーツ振興計画（仮称）の策定について

（説明内容について意見交換後、了承）

7 閉会

IX 発言の要旨

【議事の(1)：広島市スポーツ振興審議会について】

〔東川会長〕

「広島市スポーツ振興審議会について」を議題として取り上げる。事務局から説明をお願いする。

〔事務局（スポーツ振興課長）〕

＜配付資料を説明＞

〔東川会長〕

事務局からこの審議会を設置する根拠と審議会の内容について説明をいただいたが、内容について何か御質問等があればお願いする。

＜意見等なし＞

それでは、こういう内容で、これから審議会を進めていくということで御理解いただいたものとさせていただきます。

【議事の(2)：広島市スポーツ振興審議会オブザーバーとしての協力要請について】

〔東川会長〕

「広島市スポーツ振興審議会オブザーバーとしての協力要請について」を議題として取り上げる。事務局から説明をお願いする。

〔事務局（スポーツ振興課長）〕

＜配付資料を説明＞

〔東川会長〕

オブザーバーの件と運営要領について説明をいただいた。オブザーバーの先生方については、先ほど自己紹介をしていただいている。このオブザーバーの方々をお願いすることを御承認いただいたということで御理解いただければと思う。説明のあった内容でよろしいか。

＜意見等なし＞

【議事の(3)：本市のスポーツに関する事務の所管等（経緯）について】

〔東川会長〕

「本市のスポーツに関する事務の所管等（経緯）について」を議題として取り上げる。事務局から説明をお願いする。

〔事務局（スポーツ振興課長）〕

＜配付資料を説明＞

〔東川会長〕

事務の所管等の経緯について説明をいただいたが、よろしいか。議事の(1)から(3)までを通して、分からないところがあれば、発言をお願いする。

＜意見等なし＞

【議事の(4)：広島市スポーツ振興計画（仮称）の策定について】

〔東川会長〕

「広島市スポーツ振興計画（仮称）の策定について」を議題として取り上げる。事務局から説明をお願いする。

〔事務局（スポーツ振興課長）〕

＜配付資料を説明＞

〔東川会長〕

スポーツ振興計画の策定についてのこれまでの経緯、振興計画の検討委員会、そこで出され

た素案、それを踏まえてのこれからの方向性、そして今後の審議会での策定スケジュールについて、御説明をいただいたが、その内容について、何か御意見、御質問があればお願いします。

この審議会がスタートを切っていく上での基となる案を作っていただいた検討委員会から引き続きお二人の方に委員にお入りいただいている。その時の検討委員会の皆様方には、素案を基にして、さらに検討させていただくことを御承認いただいていると事務局から聞いている。

〔曾根委員〕

2点あり、まず1点は、これからアンケート調査をされるということで、前回のアンケート調査との比較は重要だが、アンケート調査の中身に問題があったのではないかと考えているので、アンケートの質問については少し慎重に進めていただければと思う。

2点目だが、専門部会の構成はどういう基準でどういう風になるのか、現段階で分かっていることがあれば、お話しいただきたい。

〔事務局（文化スポーツ部長）〕

最初にアンケートだが、前回のものを参考にしながらやるが、新たな視点も入ってきていると思うので、その部分については、事務局で決めるという形ではなく、3月の部会に提示し、議論した上で行いたいと思う。

前回の14年の調査を受けて計画を策定するという事にはならない。国の計画とか本市の総合計画も踏まえたものにしたいと思っている。

2点目の部会の構成だが、東川会長と御相談させていただき、御本人に当たった上で決めさせていただきたいと思っているが、幅広く20名の方に委員になっていただき、3名の方にオブザーバーになっていただいているので、人数的には最大でも10名かと思っている。構成についても、東川会長に御相談させていただき、御本人に当たった上で決めさせていただきたいと思っている。

〔曾根委員〕

それは、例えば、競技スポーツについては競技スポーツの方でという構成か。

〔事務局（文化スポーツ部長）〕

「子どもの体力の向上」、「競技力の向上」、「地域スポーツ」という分野があるので、その3分野から均等に出ていただくことについては配慮したいと思うが、お忙しくて、なかなか出られないということも考慮しなければならないと思っている。

〔東川会長〕

複数の部会を設けるという考え方もあるし、様々な分野の方にお集まりいただいて、一つの部会を作って、いろんな立場からそれぞれの事を考えていくということもある。今のところ、一つの部会で、いろいろな意見を集約していくというイメージを持っている。それぞれの専門部会を設けたほうがより良い対応ができるのではという御意見があれば、それも検討しなくてはならないと思うが。

〔鍋島委員〕

新しい方向にスタートを切るということは良く分かるし、必要性も感じているが、2年間かけて素案までできたものが何で計画策定に至らなかったのかを、今後のために事務局から聞かせていただきたい。

〔事務局（文化スポーツ部長）〕

平成16年度末に計画素案という形でできて、それをオーソライズするという作業に入ったが、その中で総合型地域スポーツクラブや指定管理者制度の話が出てくると計画に反映しなければならないのではないかということになり、検討する必要があった。

それから、教育委員会が定める計画になっていたが、市長が計画を定めることができるよう法改正されることになったので、法改正を待って、市長の権限で策定する方向でもう一回整理してはということもあった。

そこで、改めて素案を参考にしながら、もう一度作り直すことにした。国の計画が平成22年度に改定が見込まれ、市の基本計画もそれぐらいに改定されるということもあり、今の国の計画や市の基本計画との整合性を取ろうとすると、計画期間が2年ぐらいになり、また、改定後の国の計画等の内容も盛り込んでいきたいということで、こういう形になっている。

〔東川会長〕

機構改革の中で、どのタイミングでどうかということは難しいところがある。基本的な方針は、検討委員会で長年検討されてきた内容を踏襲しながら、今後の社会状況あるいは広島らしさというものをにらんで、どう計画を策定するかという内容だったと思うが、いかがか。

＜意見等なし＞

〔東川会長〕

それでは、先ほど資料に基づいて説明いただいた内容、また、先ほど回答いただいた内容に沿って、広島市スポーツ振興計画（仮称）の策定を進めていくということでよろしいか。

＜意見等なし＞

〔東川会長〕

皆様から御承認いただいたということで、先ほどから説明あるいはやり取りのあった内容に基づき、振興計画の策定を進めていくことにする。

部会の委員の方々については、運営要領の中で、会長に一任となっている。大変恐縮であるが、委員の選出については私に一任していただき、具体的には、日を改めて、事務局とも相談をさせていただきながら、先ほど頂いた御意見なども参考にし、委員を決めさせていただきたいと思っているが、よろしいか。

＜意見等なし＞

また、事務局から部会の委員就任のお願いを改めてさせていただくが、その時はぜひ御協力をお願いしたい。それでは、会長一任ということで部会については終了させていただく。それで、決定したら、皆様方には改めて文書で報告させていただく。部会の委員として私も加わらせていただきたいと思っているので、そのことについても御了解いただきたい。

それと、審議会の開催スケジュールについて説明があったが、とりあえず次の審議会は来年の3月になると思う。その前に部会を開催するということになると思う。開催日時については、改めて文書で御通知申し上げますので、年度末の大変お忙しい時期ではあるが、御出席いただくようお願いする。

【その他意見交換】

用意した議事については以上である。時間もあるようなので、今までの議題に関わってでも、それ以外でも何か御意見があればお願いする。

これから具体的に部会や審議会を開催していく。その時にこれまで検討して素案を作っていた検討委員会の皆様方には感謝しながら、もう一方で元気な広島市にしくはならないので、そういうことにつながる忌憚のない意見をしっかり言っていただいて、これからの会議を進めていきたいと思う。

〔曾根委員〕

部会は審議会の中から10人ぐらいを選んで、一つの部会を作ることだが、それでいいのかなと思う。折角、これだけの方がいろいろな分野から集まっているのに、10人ぐらい

の大勢だと、私のように言いたくてしょうがない人とそうでない人がいて、本当はそういう方からも意見を聴かないといけないと思う。

回数は少なくてもいいので、多様な方が集まったグループをいくつか作って、もちろん経費の問題はあるが、その中でいろんな話を出してもらおう。そしてもう一つ10人ぐらいの部会を作るのであればいいが、やはりこれだけの方がいるので、少人数の部会を二つ三つ作って、その中でいろんな話をしてもらうのがいいのではないかなと思うがどうか。

〔事務局（文化スポーツ部長）〕

事務局からは計画の策定について部会を設けたいという案でお出ししているが、20人で2年間継続的に検討していくには難しい部分が現実問題あるということと、計画素案はできているというがあるので、競技スポーツの方を集めてとか地域スポーツの方を集めてとかというやり方をするのもないかなと思っている。

もし曾根委員の言われるようにしようすると、全体会議をもう少し多めにさせていただいたほうがいいのかなと思う。何もたたき台なしに20人集まっていたいただいてやっていくのもなかなか難しいと思うので、運営としては計画の検討部会ということにさせていただいて、回数が足りないということであれば、途中で回数を増やすこともできるがどうか。

〔曾根委員〕

大勢で集まるときはいろいろな方の都合があるので、出てこられる人と出てこられない人がいるが、少ない人数だったら、割と合わせられるのではないかな。多様な人が集まることによって、いろんな意見をぶつけながら、いろんな理解や気付きも生まれる。

多様な人を少人数の部会の中で集めて、これからの広島市のスポーツ振興をどうしていくかということ話を話し合ってもらって、それをまとめた形で部会に反映し、大変かもしれないが、それを年に2回程度の全体会へつなげていくというのはどうか。多くの人の意見を反映させることが大事で、例えば部会に選ばれなかった人は、できたものを見て終わりではないかなと思う。

〔東川会長〕

例えば部会を作って、その部会の中にグループを作って、議論の中で何人かに集まっていたいただいて、たたき台を作ってもらおうというやり方もできるかなと思う。決して、部会に集まった方ですべてをやって、審議会ではしゃんしゃんということは思っていない。

必要であれば、度々集まっていたかかないといけないし、少なくともそのとき集まっていたかかないと中身が分からないということは避けないといけないと思っている。いろいろ御意見を伺うときには、少なくとも2週間前ぐらいにはたたき台をお送りして、読んでいただいて審議会に出席していただくとか、今後、こういうやり方をやっていかないと現実的なものにはなっていないと思う。

〔事務局（文化スポーツ部長）〕

部会を三つ、四つ作ると、それをまとめていただくということが出てくるので、部会の委員の方をコアにして、必要があればできる範囲でそのほかの委員さんにお越しいただくというやり方もできるし、計画の策定に当たって課題が出てきたらその課題について、別途部会を設けるという形もできるので、そういう方向で進めさせていただけないかなと思う。

〔萩原委員〕

スポーツは大まかに分けて、競技スポーツと我々のやっている生涯スポーツに分かれ、それぞれがまたいくつかの部門に分かれると思う。その検討を別々にやると大変なことになるので、部会は各分野から3人ずつくらいで一つ作って、それが上手いかなかったら、会長がおっしゃったように、分けてやる方法とか後で検討すればいいのではないかなと思う。一応それでま

めないと、大勢の人間でまとめるのは難しいと思う。

〔東川会長〕

いろいろ御意見があると思うが、折角委員になっていただいて、一言も言えなかったあるいは今の思いがこの計画のどこにも入らなかったというのはまずいことだろうと思うので、そういうところは注意していきたいと思っている。時には、部会を開く中で検討事項によっては、部会の委員の方以外の方にもお越しいたきて、専門的な意見をお聞きする場合もあると思う。

とりあえず一つ部会を設けさせていただいて、状況あるいは検討内容によって、部会にお入りにならなかった委員の方にも、今回ここを検討したいので、ぜひ出ていただけないかというような柔軟な対応でいかせていただければと思うが、よろしいか。

＜意見等なし＞

〔東川会長〕

その方向で、御意見をしっかり頂くような形で、部会のほうは進めさせていただきたいと思う。突然、お願いがあるかもしれないので、ぜひ御協力をお願いしたいと思う。

議題については、よろしいか。

＜意見等なし＞

【閉会】

〔東川会長〕

本日用意した議題はすべて終了した。第1回目の審議会を以上で閉会させていただく。